

6年「泣き虫」

展開例

- 主題**…先生の願いや意図が明確になるよう1文で表します
- 導入**…導入の後、どこかで、導入に関わる問いや話を入れます。そうすることで授業に一貫性が出ます
- 展開前段**=立場発問…ある人の立場を取得して共感する学び
- つなぎ発問①**…教材の学びから、児童生徒の実感に即した見方や考え方に広げ、展開後段の問いを多角的な視野から考えることができるようにする
- 展開後段**=主題発問…道徳的価値について考えを深める学び
道徳的価値の「在り方」「見方・考え方」「意味」「なぜ大切なのか」「よさ」「態度・意欲」の観点で考えさせる
- つなぎ発問②**…主題発問で考えたことと、子どもの生活とをつなぐような話を入れる。そして、自分との関わりで、振り返りを行うことができるように、道徳的価値を入れた振り返りの観点を説明する
- 終末**=主体発問…自己の生き方について考える学び
学習から学んだことを鏡として、これまでの自分を見つめて、自分のよさを見つけたり、よりよい自分の姿を想像したりして振り返る

振り返り…ウェルビーイングの視点を取り入れた観点を示して振り返らせる

「皆さんの考え方や行動は、もっとよくなります。そのために振り返りましょう」

まず、今日の学習から、学んだこと・分かったことを書きましょう

そして、次のことについて書きましょう

- ・これまでできていること、満足していること（よさ・自己肯定感）
- ・もっとやってみたいこと、もっとできそうなこと（ポジティブ・目的意識）
- ・誰かといっしょにやりたいこと、誰かといっしょならもっとできそうなこと（他者との協働）
- ・これから、なりたい自分（自己実現への期待）

※この中から、先生がいくつか指定して書かせる、または、子どもが自分で選んで書かせます

※振り返りの4観点を取り入れて、低中高学年別、またABCD別にした「振り返りシート」も作成していますのでお問い合わせください。

先生の、児童生徒に一番考えさせたい願いや意図（主題）に基づいて、よいように授業をおつくりください

主題	人を偏見でもってみない	正義について考えよう	
導入	今日は、第7回「泣き虫」です。「22のとびら」の「13番」「偏見をもたず、正義の実現に努める」です。「道徳みちあんない」では、○△？のどれを付けていますか	今日は、第7回「泣き虫」です。「22のとびら」の「13番」「偏見をもたず、正義の実現に努める」です。「道徳みちあんない」では、○△？のどれを付けていますか	
展開前段	○「私」は、泣いている勇気くんのことを、どのように思っていたのでしょうか ○「私」は、藤井くんのことを、	○勇気くんが言う、「ひきょう者」とは、どういうことでしょうか ○藤井くんは、トオルくんたち	

	どのように思っていたのでしょうか ○「私」が、涙があふれていたのは、どんな思いからでしょう	からいじめを受けているとき、どのように思っていたのでしょうか ○藤井くんの言葉を聞いて、勇気くんは、どうして、がっかりしたのでしょうか ○勇気くんの考えている正義とは、どういうことなのでしょう ○このクラスは、どのように生まれ変わったのでしょうか ○私たちの社会で、正義が実現していないと思うことはどんなことですか	
つなぎ発問①	○トオルくんたちは、藤井くんが、どんな子だからいじめていたのでしょうか ○「私」は、どうして、藤井くんのそばを通るときに、鼻と口を押えるのでしょうか ○クラスみんなは、藤井くんのことを、偏見をもって見ていました。偏見をもつとは、どういうことなのでしょう		
展開後段	偏見をもたないためには、人々をどのように見なければならないのでしょうか	正義とは、どういうことなのでしょう	
	藤井くんの話や動作は、グッときましたね	みんなが思う正義が、だんだんと一つにまとまるようにしていきます	
つなぎ発問②	・今日の学習から、分かったこと、心に残しておきたいことはどんなことですか ・①のことで、もうすでに、やっているよということはどんなことですか ・①のことをもとに、これから、やっていきたいことはどんなことですか ・①のことをもとに、みんなと一緒にやっていきたいことはどんなことですか ・①のことをもとに、この先、どんな学級（社会）になるとステキだなと思いますか では、振り返りを書きましょう		
振り返り			

※「○△？」は、第1回「道徳が始まるよ」で「道徳みちあんない」に書き込んだものです